

東日本大震災の経験を生かし 医療や福祉などの対応を訓練

8月21日(日)、総合防災訓練が開催されました。今回の訓練では、「市民が参加・体験できる訓練」を中心に、機関訓練と医療・福祉との連携訓練を市内東部地域の施設で計画。あいにくの悪天候で一部の訓練は中止となりましたが、医療・福祉連携訓練は予定通り実施されました。



トリアージ・タッグにより、症状に合わせて治療を行う

※トリアージ
災害時の診療で「けがの緊急度や重傷度」を判定し、治療の優先順位を決め、優先度を色分けした札(トリアージ・タッグ)をつける

吉祥寺南病院と吉祥寺南町コミュニティセンターでは、医療訓練を実施。まず、コミュニティセンター入口で、負傷した市民が担架や車椅子に乗せられ、奥にあるサロンに人力で運ばれます。吉祥寺南病院の医師や看護師が治療の優先度を選別する「トリアージ※」を行い、患者の腕にトリアージ・タッグをかけます。病院では、トリアージ・タッグを手がかりに、医師が処置を行うとともに、症状に合わせて、集中治療室やレントゲン室へ運ぶなど、現実さながらの訓練が行われました。

治療の優先度を選別



TOPICS 02

医療訓練

福祉との連携訓練

高齢者施設「ゆとりえ」では、福祉避難所の開設訓練を実施しました。災害が起きたとき、介護を必要とする人は専門のスタッフや設備の整った施設に避難することが望まれます。訓練では、近隣の住民がボランティアとして参加しながら、要介護の人々を受入れるとともに、避難者一人ひとりの状況を確認する作業が行われました。

また、東部福祉の会、南町福祉の会では、災害時要援護者の安否確認訓練を行い、雨の中、安否情報報告のため支援者などが参集しました。



訓練のために開設された福祉避難所



要援護者の安否報告を行う支援者

東京都・小平市・西東京市・武蔵野市・小金井市 合同総合防災訓練

東京都と小金井公園周辺の4市が連携した広域的な防災訓練を実施します。

日時 10月29日(土) 午前8時～午後1時

場所 都立小金井公園(桜堤3丁目、小金井市桜町3丁目ほか)



段ボールを利用し布団が数えられる



福祉避難所で手続きをする避難者

11月24日を武蔵野市平和の日と決めました



爆撃するB29。
中央下は中島飛行機武蔵製作所
(米国公文書館所蔵)

武蔵野市では、戦争の犠牲になられた多くの方々に哀悼の意を表し、この戦争の悲惨さを語り継いでいくため、そして平和の尊さを次世代につなぐため、この日を武蔵野市平和の日と決めました。市民の皆さんとともに平和についてあらためて考えるきっかけとし、平和への学びの機会や国際相互交流などの事業を行っていきます。

本年9月に開かれた第3回市議会定例会において「武蔵野市平和の日条例」が可決され、11月24日が「武蔵野市平和の日」と制定されました。昭和19年11月24日は、米軍爆撃機B29による本格的な日本本土への空襲が始まった日です。当時は武蔵野町であった市内には、現在の陸上競技場の辺りから都立武蔵野中央公園がある帯に、ゼロ戦などのエンジン等を製造する中島飛行機武蔵製作所という日本有数の軍需工場が存在しました。当時、航空発動機生産のシェア3割を占め、最盛期には24時間操業で稼働する巨大な工場でした(敷地面積約56万㎡、東京ドーム約12個分)。中島飛行機への初空襲は、11月24日の正午過ぎ、これを含め中島飛行機武蔵製作所をねらった攻撃は9回に及んだといわれ、周辺住民を含む多くの犠牲者を出しました。